

経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県 春日部市

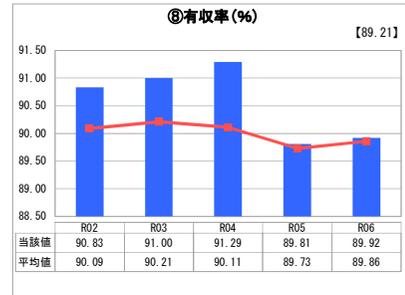
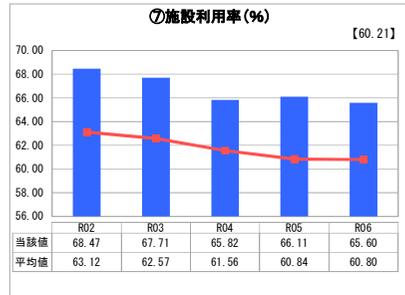
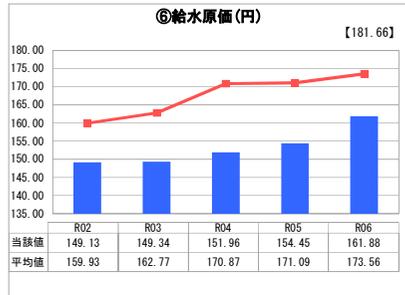
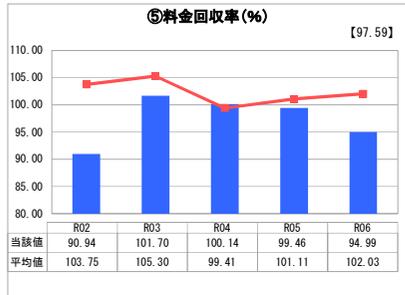
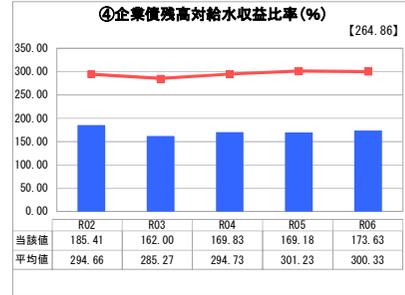
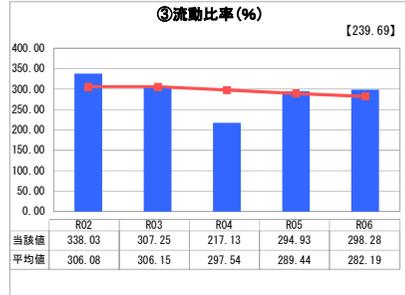
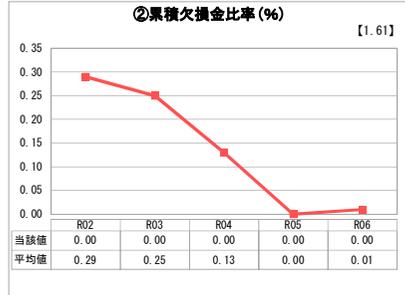
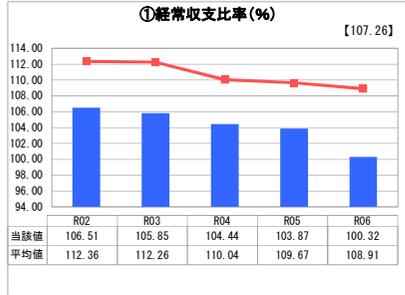
業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A2	その他
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	73.91	99.97	2,684	

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
229,656	66.00	3,479.64
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
229,290	66.00	3,474.09

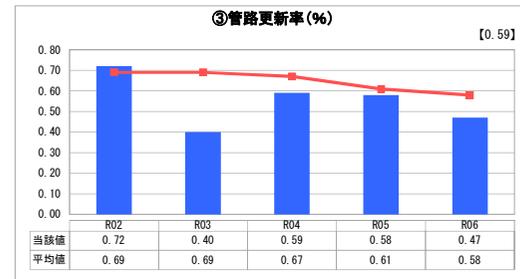
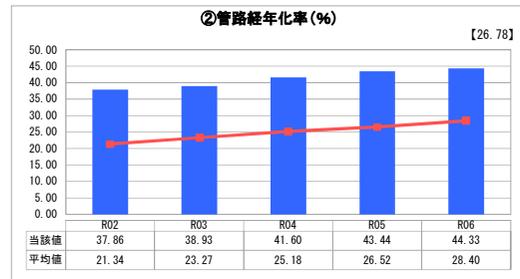
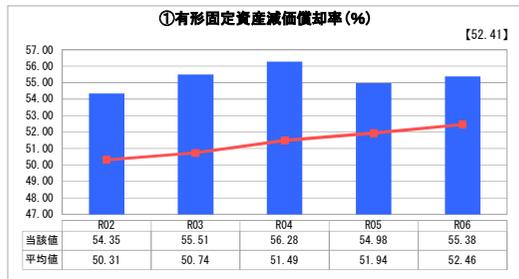
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
100%を上回っているが、下降してきており、今後増加する老朽化施設の更新財源の確保が課題である。
- ② 流動比率
100%を上回っており、短期的な債務に対する支払能力に問題はない。
- ③ 企業債残高対給水収益比率
類似団体平均値を大きく下回っているが、将来世代の負担が過大とならないよう、企業債残高を適正に管理していく必要がある。
- ④ 料金回収率
100%を下回っており、今後も施設の維持管理費や更新費用の増加が見込まれることから、財源確保に努める必要がある。
- ⑤ 給水原価
類似団体平均値を下回っているが、委託料等が増加したことなどから前年より上昇しており、今後も上昇傾向が見込まれる。
- ⑥ 施設利用率
下降傾向となっている。今後は人口減少や節水型社会への移行等による給水量の減少が見込まれることから、将来の水需要を考慮しながら効率的な施設運用に努める必要がある。
- ⑦ 有収率
類似団体平均値を上回っており、前年度より増加している。引き続き漏水調査や老朽管の更新などの漏水対策を行い、有収率の向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
50%を超えており、法定耐用年数に近い資産が多いことを示している。
- ② 管路経年化率
類似団体平均値を上回っており、法定耐用年数を超えた老朽管が多いことを示している。更に、今後は高度経済成長期に布設した多くの配水管が耐用年数を迎えることから、管路更新ペースの向上を図る必要がある。また、表中の令和5年度の数値について、管路延長の見直しに伴い、43.44から43.75へ変更となった。
- ③ 管路更新率
前年度より減少しており、類似団体平均値を下回った。これは、繰越工事が多く発生したことにより、一時的に年度内完成工事が減少したことによるものである。今後、管路更新率の向上に向け、計画的な管路更新を行っていく必要がある。また、表中の令和5年度の数値について、管路延長の見直しに伴い、0.58から0.49へ変更となった。

全体総括

今後も水需要の低下や施設の老朽化等、経営状況は厳しさを増していく見込みとなっている。また、計画的な施設更新を行っていくため、概算発注方式や設計施工一括発注方式を活用するなど工夫を行っているものの、人件費や物価上昇などによる工事請負費等の増加が経営を圧迫している。今後も、春日部市新水道事業ビジョン（経営戦略）に基づき、計画的な施設の更新と効率的で持続可能な事業経営の確保を図っていく必要がある。